

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月17日更新

事務事業名		西合志庁舎屋上防水事業					マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部	課長名	中村 誓丞				
計画	施策	25	行政改革の推進		所属課	財政課	担当者名	合林 利晃				
体系	基本事業	89	公有財産の管理運営		所属班	財政班	(内線)	1244				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令 根拠			成果優先度評価結果	—		
	一般	2	1	7	11607				コスト削減優先度評価結果	—		
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(開始年度 (24 ~ 25 年度))						

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	・経年劣化による西合志庁舎屋上の防水工事を行い、施設の延命化を図る事業である。 ・平成22年度に行った現地調査を基に、平成24年度に事業の立案及び計画の策定を行った。 ・平成25年度の第1四半期で実施設計業務委託の発注(指名競争入札)を行い、第3四半期に工事を発注(指名競争入札)する。設計の中で庁舎の耐用年数等も考慮の上、必要最低限の施工を行う。
【業務の流れ】	・第1四半期に実施設計の発注を行う。 ・第3四半期に工事及び監理委託の発注を行う。 ・第4四半期までに全事業完了の予定。
【主な予算費目】	委託料・工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市民・議会からの声はないが、屋上の経年劣化により、近年施設の雨漏りが職員より報告されている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) (DO) 計画の策定及び資料等に基づき平成25年度予算の編成を行なった。	新規・拡充区分: 新規 25年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・現地の実施設計を行う。 ・現地の防水工事及び工事監理を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア 改修面積 イ	(単位) m ² 予算の主な増減の理由 【新規事業】西合志庁舎屋上防水工事に伴う委託料及び工事請負費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 西合志庁舎	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 改修面積 イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設の延命化を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア 工事進捗率 イ
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 平成25年度の単年度で完結する事業である。	総トータルコスト 全体計画 ~25年度

(2)各指標・総事業費の推移			単位	実績(決算)	実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	イ	m ²			0	0	1,728			
② 対象指標	ア	イ	m ²			0	0	1,728			
③ 成果指標	ア	イ	%			0	0	100			
投	事	業	国庫支出金 財 源 内 訳	千円							
			都道府県支出金 地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円				28,404			
入	費		(A) 事業費計	千円		0	0	28,404			
			(A)のうち指定経費	千円		0	0	0			
			(A)のうち時間外・特勤	千円		0	0	0			
人	件	費	正規職員従事人数	人		0	2	2			
			延べ業務時間	時間		0	20	30			
			(B)人件費計	千円		0	81	121			
			トータルコスト(A)+(B)	千円		0	81	28,525			

事務事業名	西合志庁舎屋上防水事業	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (S E E)

*原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は?	<input type="checkbox"/> 達成した 事業自体は平成25年度のものであるため、当年度における目標の設定はしていない。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗ 平成25年度目標達成度評価
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗ 平成25年度当初予算の成立に伴い、年間事業計画を策定済みであり目標達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか?成果が頭打ちになってないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗ 適正な施工期間を考慮し計画を立てており、単年度での進捗率を100%とする。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗ 庁舎管理運営事業(修繕)と類似しているが、内容としては西合志庁舎屋上に特化したものであり他事行との統合はできない。但し、庁舎管理運営事業と連携し、今後の整備を行うことは考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗ 適正な規格や品質、庁舎の耐用年数等を考慮した上で、必要最低限の改修設計を行う計画である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗ 工事監理については委託を予定しており、事業の契約等に係る人件費を最小の範囲で計上しているため、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっていないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗ 庁舎は公有施設であり公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗ 公共工事という観点からの見解が求められるため、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗

3 評価結果の総括 (S E E) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成25年度の工事実施に向けて、基盤となる計画策定を行なうことが出来た。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (P L A N)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

平成25年度において、実施設計及び工事を行う。第1四半期に実施設計、第3四半期に工事発注、竣工できるよう計画的に事務手続きを進める必要がある。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成績	コスト		
	削減	維持	増加
向上			○
維持			△
低下	△	△	△

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特に無し。